



おかげさまで
20周年
キャンパスの会



社会福祉法人
キャンパスの会

〒885-0017 宮崎県都城市年見町 30 号 1 番地 2

キャンパスの会
理 念

障がい(児)者に対して

地域社会での自立を実現するための支援に関する事業を行い
もって社会福祉に寄与することを目的にしています

理念の下 障がい者の精神的・経済的自立を目指し

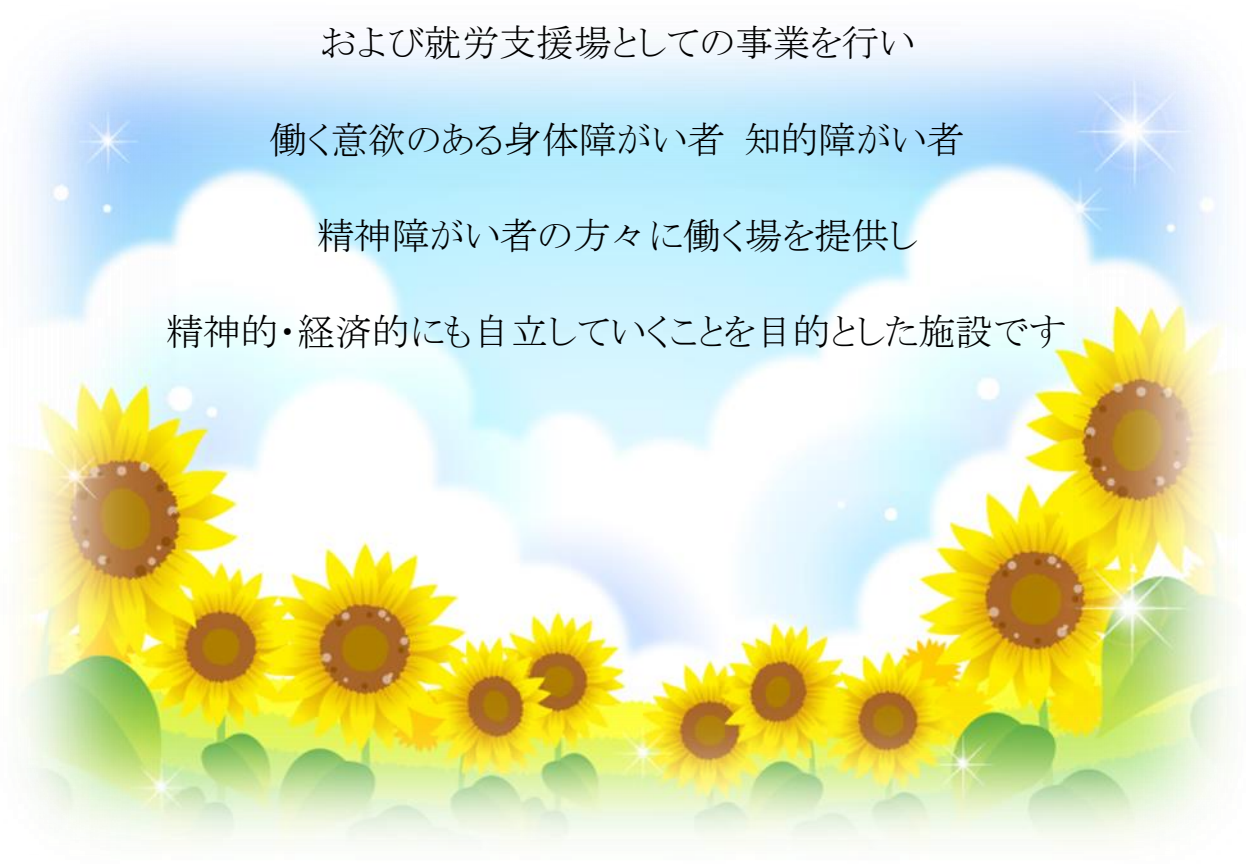
地域社会で生き生きと暮らすための支援

および就労支援場としての事業を行い

働く意欲のある身体障がい者 知的障がい者

精神障がい者の方々に働く場を提供し

精神的・経済的にも自立していくことを目的とした施設です



ごあいさつ

社会福祉法人キャンパスの会 理事長 楠元 洋子

おかげさまで20周年、ご出席ありがとうございます。

私には重い障がいの娘がいます。すべての母親の思いである「我が子が親なき後安心して暮らせるように」その思いを活動にして20年間歩んでまいりました。

キャンパスの会は、2004年に都城市に重症心身障がい者の「居場所」作りのためNPO 法人キャンパスの会として発足しました。その後「働く事を希望する」障がい者の思いに応えるため、2007年「社会福祉法人キャンパスの会」を設立、開設当初から現在に至るまで、障がい者の雇用に力を入れ、働くことを希望する障がいのある方々に働く場所と、仕事を作り出し、障がい者の経済的自立を目指して活動を続けています。

また、宮崎市に開設しました「障がい福祉サービス事業所はながしま(2014年)」及び「はながしま診療所(2016年)」は、医療的ケアを必要とする重症心身障がい児者の皆さんが半数以上を占め、安全安心で手厚い支援と施設経営を求められました。新たな支援制度の創設や経営努力で、開設10年を経てようやく軌道に乗ってまいりました。

さらに、2021年には沖縄県浦添市に野嵩商会さんのご協力で「障がい福祉サービス事業所ハートフルユニオン」を開設し 県を越えての活動も行っています。

利用者支援のために尽くしてくれる職員と、ご協力企業の皆様、お客様である地域の方々を含めると、数えきれない皆様のお知恵と奉仕の精神に支えられ、感謝の声を糧にして、なんとしてでも継続していかなければ、との決意の元、なんとか今日まで続けることができました。最終目標である親亡き後の居場所づくり、「医療に対応できるグループホーム」夢の実現にあと一歩です。

これからも、皆様との出会いを大切に、幸せ支援を続け、職員一同邁進して参ります。

キャンパスの会創立20周年感謝の集い

さだまさし トーク&ライブ

～ メッセージ ～

20周年おめでとうございます！

今日のライブは大好きな迫田耕一朗先生との最後の約束でした。

先生も喜んでくださっている筈です。がんばります。

プロフィール



長崎市出身。シンガー・ソングライター、小説家。'73年フォークデュオ・グレープとしてデビュー。'76年ソロ・シンガーとして活動を開始。「関白宣言」「北の国から」など数々のヒット曲を生み出す。ソロデビュー以来、通算4600回を超えるコンサートのかたわら、小説家としても「解夏」「眉山」「風に立つライオン」などを発表。多くの作品が映画化、テレビドラマ化されている。また、NHK「今夜も生でさだまさし」のパーソナリティとしても人気を博している。2015年8月、一般財団法人 風に立つライオン基金を設立（2017年7月、公益法人に認定）。様々な助成事業や被災地支援事業、「高校生ボランティアワード」などの顕彰事業、感染防止対策支援等を行っている。

今年4月には、昨年開催されたデビュー50周年記念ライブ作品「さだまさし 50th Anniversary コンサートツアー2023～なつかしい未来～」を、5月には歌が収録されていないステージトークだけのアルバム「歌ってはいけない CD さだばなし 迷作集 令和六年版」をリリース。51年目の全国ツアー「2024 さだまさしコンサートツアー"51"」を開催中。

～ プログラム ～

- 会場：宮崎観光ホテル東館2階 翠耀の間 開演：13:00～14:30
- あいさつ：キャンパスの会 理事長 楠元 洋子
- メッセージ：社会医療法人耕和会 理事長 佐々木 万里代 様
大淀開発 株式会社 代表取締役 堀之内 芳久 様
- トーク&ライブ

希望の色

重度の障害のある娘を連れ楠元洋子さんが、それまで住んでいた大阪から古里の都城市に引っ越してきたのは2001年8月。認知症の義母の介護のためだった。自身は当時53歳。夫は仕事があつて大阪を離れられず、娘、義母との3人だけの生活のスタートとなった。当時25歳の娘はほとんど歩くことができず、自分で寝返りを打つことも難しい。就寝中は途中で起きて体位変換や様子の確認が必要だった。大阪では日中預かってくれる施設などがあつたが同様のサービスを行う施設は見つからなかった。

「生活できるだろうか」と不安が募つた。そんなとき、ふと空を見上げた。ビルに囲まれた大阪と違い、空が大きく広がっていた。古里の鮮やかな青い空を見ていると少し落ち着いた。

ただ生活は厳しかった。娘のおむつを替えたと思ったら、今度は義母のトイレ介助。夜は娘の体位交換もあり、睡眠時間は削られ、「社会から切り離された気持ちだった」。

ある日、疲れた体で掃除機をかけていると、娘がリビングの床で大声を出して暴れている。「もう限界」と気持ちが切れ、掃除機で娘を殴ろうとした。認知症の義母が腕をつかんで止めてくれ、我に返った。

その後、母子で通える施設の支援を受けることができ、生活に余裕ができた。知り合った女性と障がいのある子たちが地域で暮らせる場所づくりに向けた活動を始め2004年、NPO 法人「キャンパスの会」を設立した。

法人名には宮崎に戻って間もない頃に見た青い空を重ねた。「空のような大きなキャンパスに、子どもや親が好きな色でたくさんの夢を描けるようにしたい」そう願つた。

20th Anniversary

会では学校に通う障がい児を授業終了後などに預かる施設がまだ珍しかった2000年代、夏休みなどに障がい児を受け入れる取り組みを都城市で始めた。学校を卒業した障がい者らが農業やクリーニングといった業務に励む場も整えた。

2014年、宮崎市に開いた障がい者向けの福祉サービス事業所「はながしま」は、人工呼吸器の使用や経管栄養といった医療的ケアが必要な重症心身障がい者らを受け入れ、入浴や食事などを支援する当時珍しい施設だった。2016年には障がい児らを診る「はながしま診療所」も併設された。

重度の障がいがある息子が「はながしま」を利用する宮崎市の安藤潤子さんは「施設に通うようになり、私も時間ができた。私も息子も自立できた」と感謝する。キャンバスの会が関わる障がい者支援関連の事業は宮崎、沖縄両県で30以上、登録する障がい者は約200人にまで増えた。

医療の進歩により救える命は増え、国の推計によると、人工呼吸器の使用などが必要な医療的ケア児は全国で約2万人(2022年)と15年前から倍増している。

社会福祉法人となったキャンバスの会で理事長を務め、忙しい日々を送る楠元さんは時々、青い宮崎の空を見上げる。「みんなが描いた夢はまだ全て実現していない」。障がいのある人やその家族らの夢が色鮮やかに輝くよう、これからも仲間と手を携え前に進んでいきたいと思っている。

《2024・1月4日 読売新聞の掲載記事より抜粋》

祝 辞

宮崎市長 清山 知憲

社会福祉法人キャンパスの会創立20周年を心からお祝い申し上げます。

貴法人におかれましては、2004年の設立以来、長年にわたり、障がい福祉の向上にご貢献いただいておりますことに、心から敬意を表します。また、宮崎市内に置きましては、「障がい福祉サービス事業所はながしま」「はながしま診療所」「児童発達支援はながしま」を開設され、重度心身障がい児・者や医療的ケアの必要な障がい児・者の支援にご尽力をいただいていることに、改めて感謝申し上げます。

以前、貴法人が重度心身障がい児・者とその家族の抱える課題を考えるセミナーを開催された際に、パネルディスカッションの進行役を仰せつかり、福祉の現場の声を聞かせていただき、貴重な経験を得ることができました。

さて、本市は、大正13年4月1日に市政を施行し、今年4月に市政施行100周年を迎えました。3月には「第7期宮崎市障がい福祉計画(第3期宮崎市障がい児福祉計画)」を策定し、「地域共生社会の実現に向けた取組」「障がい児の健やかな育成のための発達支援」等の理念のもと、障がい福祉サービス等の提供の確保が総合的かつ計画的に図られるよう、令和8年度における数値目標の設定や、今後の障がい福祉サービス等の見込み及び提供体制の確保について定めております。

また、令和5年3月に策定した「第4期宮崎市障がい者計画」においては、基本目標の一つとして「安全で安心して暮らすことのできるまちづくり」、施策の柱として「福祉サービスの充実」、施策として「重度心身障がい者及び医療的ケア児者への支援強化」を掲げ、今後の主な取組みとして、医療的ケア児や家族の切れ目ない支援が行える体制の構築や医療的ケア児の健やかな成長と介護者の負担軽減のためのレスパイトの充実等を図ってまいります。

今後ともこれらの計画に基づき、障がいのある人もない人も共に支え合い、安心して暮らし、社会に参加できるまちづくりを進めてまいりますので、ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、社会福祉法人キャンパスの会のますますのご発展と皆様のご健勝を祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

創立 20 周年によせて

大淀開発株式会社 代表取締役 堀之内 芳久

社会福祉法人キャンパスの会が創立20周年を迎えられ、記念式典が開催されますことを心よりお喜び申し上げます。また、記念事業として「さだまさし氏」をお招きいただいたこと永年の さだファン としては大変な喜びです。

楠元理事長ならびにスタッフの皆様におかれましては、就労継続支援事業のみならず重心者(児)のための支援にご尽力いただいておりますことに 深甚たる敬意を申し上げます。

貴法人におかれましては、平成16年にNPO法人として、また平成19年に社会福祉法人として認可を受けられて以来、障がい者(児)に対して地域社会での自立を実現するための支援に関する事業をもって社会福祉に寄与するという基本理念のもと、就労継続支援事業所を中心とする施設の拡充に努められました。弊社と致しまして平成23年の「お弁当のまるよし」就労継続支援A型・B型事業所開設、平成25年の「CBS リネンサービスとしみ事業所(就労継続支援A型)」開設、平成26年の「障がい福祉サービス事業所はながしま(生活介護・短期入所・日中一時)」開設にあたって建設の協力をさせていただき、また貴法人の事業に側面ながら寄与できたことを誠に光栄に存じます。

特に、はながしま事業所の開設にあたっては土地の確保で宮崎市との認可のためのご苦勞を目の当たりにしておりますので、感慨深いものがあります。僅か20年でこれだけの実績を積み上げられたことは驚くべきことです。今後は、創立30周年に向けてスタッフの皆さまとどのような展開をされるのか期待を持ちながら見守っていきたいと思います。

結びに、楠元理事長の「障がいのある我が子が親亡き後も安心して暮らせるように」という思いからスタートしたキャンパスの会の更なるご発展と、これから障がい者が地域でいきいきと安心して暮らせますようにご祈念申し上げ、お祝いのことばいたします。

関係者からのメッセージ

鹿島税理士会計事務所 税理士 鹿島 昇

この度は、社会福祉法人キャンバスの会の創立20周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。

今から遡ること20年前、当会は、現在の楠元理事長のご自宅の2階を事業所として紙おむつ等の販売のみを行うNPO法人でした。私自身、その当時を知る者として、あの時のごくごく小さな事業所が今日のような姿に大成長を遂げたことに、「底知れぬキャンバスパワー」を感じております。

時代は平成から令和へと変遷し、「社会福祉法人キャンバスの会」、今では地域社会にとって、なくてはならない存在となりましたが、今後もキャンバスの会が更なる飛躍をし続けていけることを祈念致しております。

CBS リネンサービス年見事業所

管理者・サービス管理責任者 松元 保彦

私自身は、入職して早9年が過ぎようとしています。加工センターでは、管理者として利用者様を支援しながら、宮崎県衛生管理・品質向上研修、HACCP 衛生管理承認、外国人技能実習生受入等の事業を行い、令和4年4月からCBS リネンサービス年見事業所のサービス管理責任者として勤務しています。日頃から、利用者様からの相談等への傾聴を心掛けています。軽微な相談でもしっかりと顔を合わせて耳を傾けて話を促し、主訴を見極めて要約して相談者が早く安心できるよう助言しています。

この2年間で、2名の利用者様が一般就労へ、そのうち1名は他事所のスタッフに登用され、更なる高みへ進まれました。また、利用者様の賃金向上に繋げるため、今年度3件の新規受注先を開拓しました。

「全ては利用者様のためになる仕事をしてください」理事長のこの言葉を胸に刻みながら、スタッフと共に利用者様が地域で自立できるよう本人のニーズに寄り添う支援を心掛けていく所存です。創立20周年を通過点として、更なるキャンバスの会の発展を祈念いたします。

20th Anniversary

株式会社丸佳 所長 月野 真美

株式会社丸佳に入社し11年の間に結婚し2人の子どもを授かりました。2人目の出産の際には、理事長が病院まで来てくださり、子どもが病気をしたと話すと心配され、子どもが賞状をもらってきたと話すと、親の私よりも喜んでアドバイスして下さいます。

仕事でも製品開発のアドバイスをいただきながら日々勉強中の私ですが、ポタージュスープの試作中に「いろんな所のスープを飲んできたけどあなたのスープが一番美味しい」とおっしゃって下さったことがとても嬉しかったです。

今後も経営方針である「安全・安心な商品をお客様へお届けしたい」を第一に日々勉強し「美味しい」と皆様に言っていただける製品の開発に努めたいと思います。理事長をはじめスタッフの皆さんに支えられながら働けることへの感謝の気持ちを忘れずに、これからも頑張りますのでよろしくお願い致します。

お弁当のまるよし サービス管理責任者 木之下 春美

平成19年、利用者さん5名とスタッフで作っていたお弁当が、今では一日500食以上 利用者さんも18名に増えました。忙しい中にも協力しながらお弁当を仕上げていく利用者さんの成長に目を見張りながら、共に味わう達成感や、人との対話が苦手だった利用者さんが皆と明るく接している姿は、この仕事に携わった事で得た大切な宝物だと思っています。

これからも、キャンパスの会で利用者さんの成長を楽しみにしながら働けたらと願っています。

生活介護 なみき 保護者 安持 時子

キャンパス20周年、おめでとうございます。

当時、娘が通っていた作業所に馴染めず、できて間もないキャンパスの会を見学に行きました。皆さんに快く受け入れてもらったおかげで、もう20年近く楽しく通わせて頂いております。色々な行事への参加、音楽活動や手話、花見やドライブ、工作、運動、飛行機や新幹線で旅行に行ったり・・・毎回、この子達が喜ぶ事を一生懸命考えて計画 実行してもらい本当にありがとうございます。

私達家族は、娘が毎日楽しく通える場所が一番です。これからもよろしくお願い致します。

20th Anniversary

生活介護なみき 保護者 中島 甲子

思い起こせばキャンパスのとのつながりは長く、娘の葉子が小学校低学年の頃からお世話になっています。その頃はまだ施設長(現 理事長)さんが送迎されており、施設長さんが大好きな娘はキャンパスに行くときそばを離れませんでした。

娘も成長し、今ではなみきの職員の方と楽しく会話をして、他の利用者さんのお世話や手伝いを行い、毎日笑顔で出かけていきます。旅行は本当に楽しみで、数日前から準備して何度も服の出し入れをしていました。社会参加として手話、ダンスの発表会、市役所でのロビー販売、去年の運動会、それ以外にもドライブ、季節の行事ポーリング等、数えきれないほど沢山の思い出を作っていただいております。

障がいにはありますが、なみきで過ごす時間は娘が自分を活かせる場所だと思います。職員の方々の支援が娘の成長と記憶に繋がっています。これからも楽しみです。今後ともよろしくお願ひ致します。感謝しかありません。

はながしま診療所 院長 澤田 一美

令和2年(2020年)4月に「はながしま診療所」に入職してしてから今年で5年目を迎えます。令和2年1月に新型コロナウイルス感染症の国内1例目が確認され、緊張した空気の中での入職でした。「はながしま」の施設内でも、何をどれくらい消毒したらよいのか、日中活動はどこまでできるのか、混乱の日々でした。体温調節が難しい利用者の皆さんをお預かりしている中、元気いっぱいなのに37.5℃を超えるとお迎えをお願いしなければならず、心苦しいこともたくさんあったと記憶しています。

私の「はながしま」の記憶はコロナウイルス感染症との戦いとともにあります。利用者の皆さんのご協力と、職員の細やかな対応でここまで来ることができました。コロナ禍を乗り越えたこの経験はみんなの宝物だと思います。

これからは息苦しさから少し解放されて、より楽しい「はながしま」を目指します。

これからもよろしくお願ひします。

20th Anniversary

障がい福祉サービス事業所はながしま
施設長 米倉 照代

今年6月1日付けで、当事業所は10周年を無事に迎えることができました。これまで支えていただいたご利用者様とご家族の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。また、私が施設長という大役を続けてこられたのは共に支えてくれた仲間がいたからであります。「はながしま」はまだまだ伸び代のある事業所です。みんなが住み慣れた地域でいきいきと暮らせる社会を目指して、これからも職員一同力を合わせ、成長していきたいと考えています。今後ともご支援の程、よろしく願いいたします。

宮崎県重症心身障がい児者を守る会 在宅部会長
はながしま事業所 保護者 井島 尚子

キャンパスの会20周年おめでとうございます。

障がい者が地域社会での自立を実現するための支援に関する事業を行い、社会福祉に寄与する事を目的に、又、障がいのある子ども達のニーズに応え、親の思いを形にしていって下さった事に、有難く感謝申し上げます。

特に、医療的ケアの必要な重症心身障がい者が利用できる「福祉サービス事業所はながしま」に生活介護、短期入所、日中一時が開設されました事で障がい者も保護者も日常生活が一変しました。

笑顔あふれる場所で安全・安心な「キャンパスの会」スタッフの皆様方への感謝と共に、益々のご発展をお祈り致します。

はながしま事業所 保護者 安藤 潤子

生活介護でお世話になり4年余り。なかなか親離れ(特に)子離れが出来なかった親子ですが、すっかりスタッフにも場所にも慣れ、お泊りも出来るようになり、「離れる」ことで息子の違う一面を見て成長を感じたり、親も歳を重ねるごとに人に委ね頼ることの大切さを感じ「はながしま」は家族にとって大切な生活の一部になってます。スタッフの皆さんの温かい関わりに感謝し、これからも息子との成長を楽しみにしたいと思います。

事業所紹介

加工センターキャンパス
都城市 年見町

開設:R2年4月～
定員:就労支援継続 A型 10名 B型 10名
事業内容:食品加工・販売・農業 他



生活介護なみき
都城市 年見町

開設:R5年7月～
定員:20名 事業内容:生活介護



短期入所さくら
都城市 年見町

開設:H23年8月～
定員:10名
事業内容:短期入所



お弁当のまるよし
都城市 早水町

開設:H24年1月～
定員:就労継続A型10名 B型10名
事業内容:弁当・配食サービス



ふくふく
都城市 南鷹尾町

開設:H22年5月～
事業内容:酒類販売



共同生活事業所キャンパス
代表:都城市 年見町

年見ホーム(男性8名)開設:H24年9月～
広原ホーム(女性8名)開設:H24年3月～
久保原南ホーム(男性4名)開設:R3年4月～



CBS リネンとしみ
都城市 年見町

開設:H25年1月～
定員:就労継続A型20名
事業内容:リネンサービス・レンタルクリーニング



CBS リネンしゃぼん
都城市 都北町

開設:H28年7月～
定員:就労継続B型20名
事業内容:リネンサービス



居宅介護支援事業所キャンパス
都城市 年見町

開設:H22年5月～
事業内容:居宅介護事業



障がい福祉サービス事業所 ハートフルユニオン
沖縄県 浦添市

開設:R3年12月～

定員:就労継続A型10名 B型10名

事業内容:バックヤード業務(パッケージ・計量等)



障害福祉サービス事業所 はながしま
宮崎市 花ヶ島町



開設:H26年6月～

定員:生活介護20名 日中一時5名

児童発達支援5名



はながしま診療所
宮崎市 花ヶ島町

開設:H28年4月～

定員:医療型短期入所19名(登録者数69名)

就労継続A型20名(R2年6月～)

キャンパスの会20年のあゆみ

2004 (平成16年)

NPO法人キャンパスの会設立 学童保育
ボランティア実施
居宅介護・レスパイトサービス「くれ
よんはうす」開始

2005 (平成17年)

「身体障がい者デイサービス ぱすてる
はうす」開設
「くれよんくらぶ」開設
「CBSリネンサービス」就労継続A型
を置く
障がい者雇用「紙おむつ専門店キャン
パス」開店

2006 (平成18年)

「知的障がい者デイサービス ぱれっと
はうす」開設
障がい者と高齢者雇用「ふれあい野菜
市」開店

2007 (平成19年)

共同生活事業所「姫城ホーム」開設
「社会福祉法人キャンパスの会」設立
認可(初代理事長 楠元義文 就任)
「給食センターキャンパス」就労継続
A・B型 開設

2008 (平成20年)

NPO法人キャンパスの会
「CBSリネンサービス早水事業所」
就労継続A・B型開設
「給食センターキャンパス」駐車場に
事務所棟 増築

2009 (平成21年)

NPO法人キャンパスの会「みやこの
じょう就業・生活支援センター」開設
(2代目理事長 楠元洋子 就任)
共同生活事業所「久保原西ホーム」
「CBSリネンサービス都北事務所」就
労継続A型 開設

2010 (平成22年)

NPO法人キャンパスの会で共同生活
事業所「久保原東ホーム」開設
NPO法人キャンパスの会より 社会福
祉法人キャンパスの会に「ふれあい野
菜市」「姫城ホーム・久保原西ホー
ム・久保原東ホーム」「CBSリネン
サービス都北営業所・早水事業所」の
4事業所を移管
「株式会社 丸佳」設立
共同生活事業所「久保原南ホーム」開
設

2011 (平成23年)

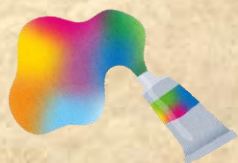
短期入所事業所「さくら」地域活動セ
ンター「なみき」「お弁当のまるよし」
就労継続A・B型 開設

2012 (平成24年)

共同生活事業所「広原ホーム」開設
姫城ホーム、久保原西ホーム、久保原
東ホームの利用者を広原ホームへ移籍
地域活動支援センター「なみき」およ
び短期入所事業所「さくら」を年見町
に移転
共同生活事業所「としみホーム」開設

2013 (平成25年)

「CBSリネンサービス としみ事業所」
就労継続A型 開設
(株)丸佳が食品加工工場「就労移行支
援事業所としみ」として指定を受ける
地域活動支援センター「なみき」を
「生活介護事業所なみき」に名称変更



2014 (平成26年)

「障がい福祉サービス事業所はながしま」(生活介護・短期入所・日中一時)「AZMLレストラン」(就労継続A型)「キャンバス配送センター」(就労継続A型)を宮崎市に開設
都城市・曾於市・三股町と契約し「日中一時支援キャンバス」の事業開始

2019 (令和元年)

共同生活事業所久保原南を閉所しグループホームとしみに移籍
「AZMLレストラン」閉所
「日中一時支援キャンバス」終了
「放課後デイサービスとしみ」開設
キャンバスの会15周年記念式典・講演会を開催

2016 (平成28年)

「障がい福祉サービス事業所はながしま」に「はながしま診療所」を開設
志布志市と日中一時支援事業を契約
「CBSリネンサービス都北事業所」を「CBSリネンサービスとしみ事業所」に統合
「CBSリネンサービス早水事業所」を移転し「CBSリネンしゃぼん」に名称変更
「共同生活事業所都原」を開設

2021 (令和3年)

「給食センターキャンバス」閉所
「加工センターキャンバス」(就労継続A・B型)開設

2017 (平成29年)

日本財団助成事業 重症心身障がい児(者)の医療的ケアに関する多職種セミナー“輝けみんなのいのち”年6回開催

2022 (令和4年)

共同生活事業所「久保原南ホーム」開設
障がい福祉サービス事業所「ハートフルユニオン」(就労継続A・B型)を沖縄県浦添市に開設

2023 (令和5年)

日本財団助成事業 シンポジウム「つながろう みんなのいのち」開催

2018 (平成30年)

六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定を受ける
キャンバス配送センターを はながしま診療所の従たる事業所として変更申請
公益財団法人ヤマト福祉財団助成「重症心身障がい児(者)の望ましい支援や制度構築のための研究事業」を宮崎大学地域資源創成学部の協力を得て実施
共同生活事業所「都原」を閉所し「グループホーム広原」に移籍

2024 (令和6)

「キャンバスの会創立20周年感謝の集い」
さだまさしトーク&ライブ・式典開催
障がい福祉サービス事業所(就労継続A・B型)沖縄県名護市に開設予定

